

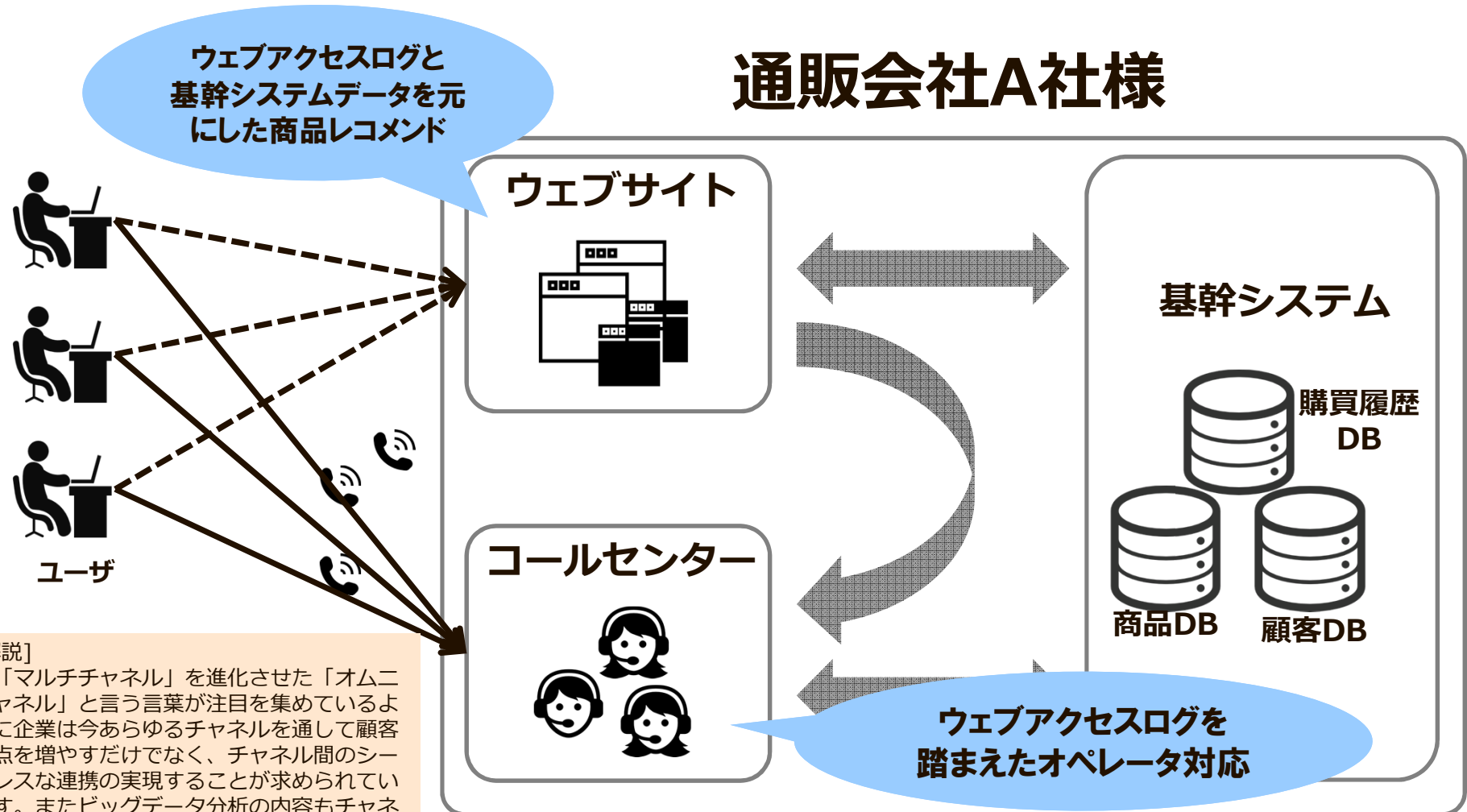


GEも出資したビッグデータ時代の先  
駆者Pivotalと  
HULFTの連携が実現する世界

2014年6月  
Pivotalジャパン株式会社

# ビッグデータ分析適用例(通販会社様)

## チャンネルをまたいだ顧客対応の実現へ



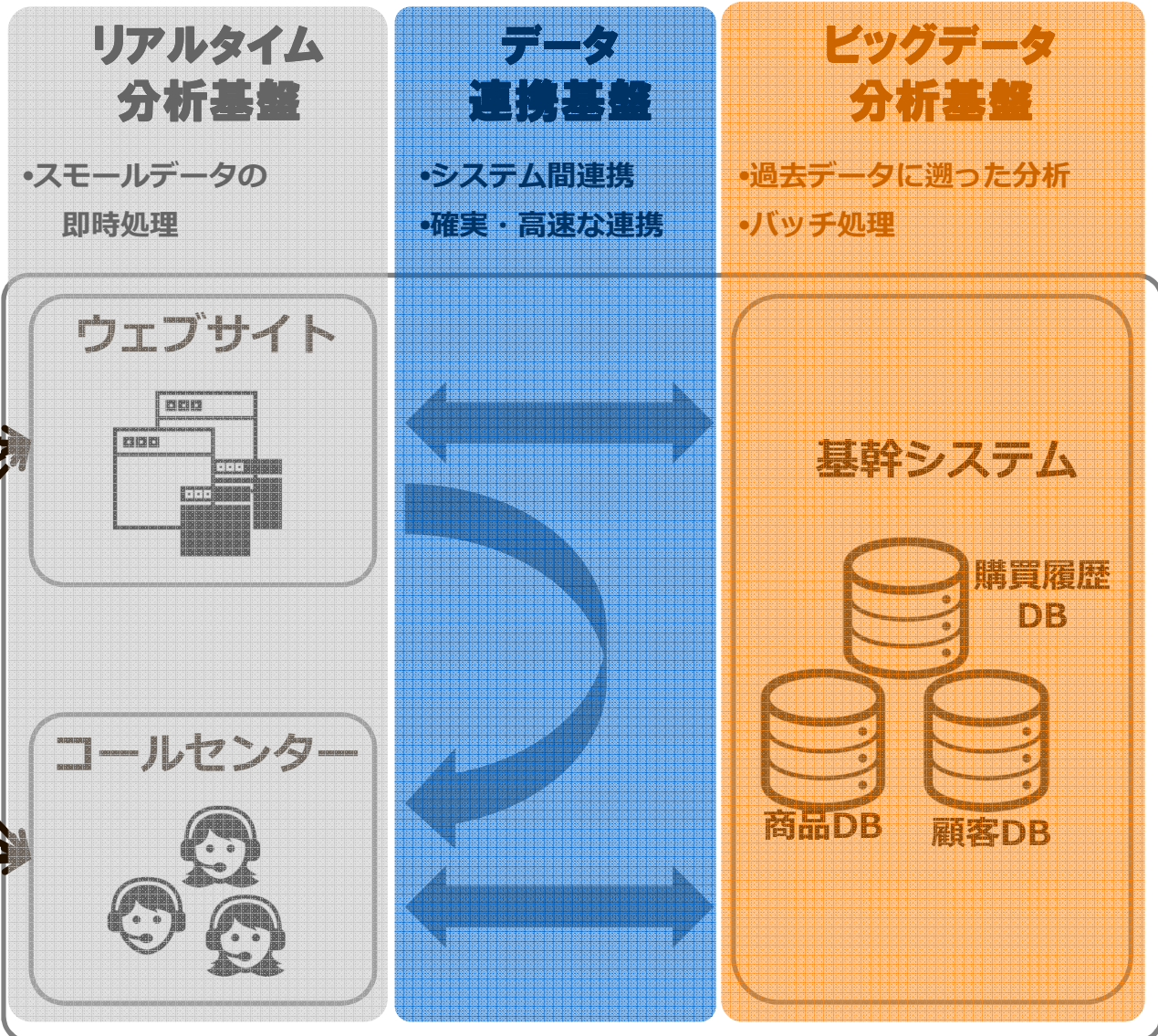
### [解説]

今「マルチチャンネル」を進化させた「オムニチャンネル」という言葉が注目を集めているように企業は今あらゆるチャンネルを通して顧客接点を増やすだけでなく、チャンネル間のシームレスな連携の実現することが求められています。またビッグデータ分析の内容もチャンネル同士のデータ連携が要となってきています。

# ビッグデータ分析3大要素

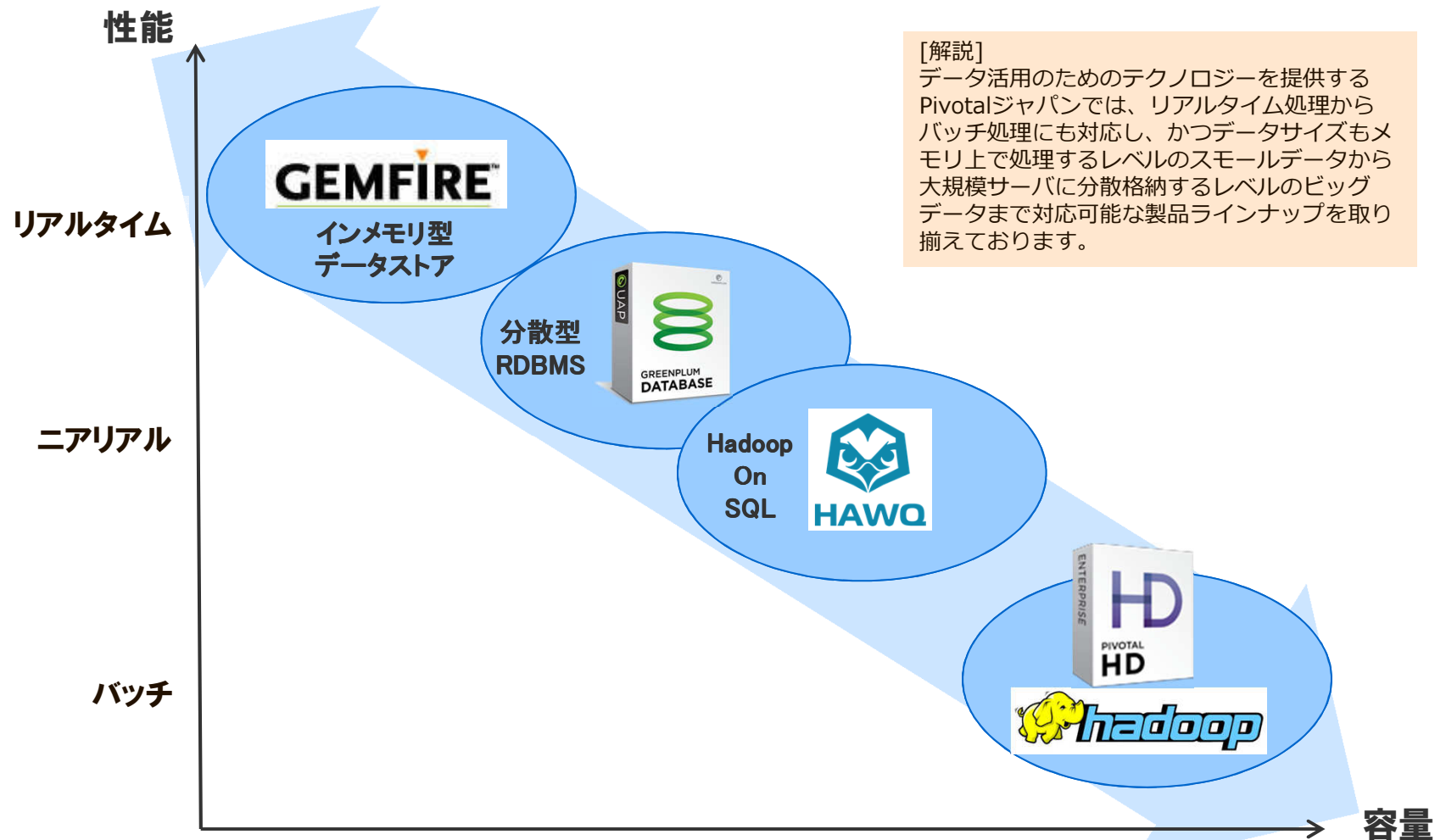
## [解説]

このような潮流の中、ビッグデータ分析を実現するために必要な要素は「単にこれまで以上の大規模なデータを分析できること」ではなく、「大量のデータを分析」しつつ、高度な「データ連携機能」を通して「リアルタイムな分析」を実現することによって変わってきています。



# Pivotal製品ラインナップ

## リアルタイム・ビッグデータをとらえる幅広いラインナップ



[解説]

データ活用のためのテクノロジーを提供するPivotalジャパンでは、リアルタイム処理からバッチ処理にも対応し、かつデータサイズもメモリ上で処理するレベルのsmallデータから大規模サーバに分散格納するレベルのビッグデータまで対応可能な製品ラインナップを取り揃えております。

# ビッグデータ分析最後の関門：データ連携

## データ連携にまつわる課題

既存システムからデータを  
抜き出し、データ投入する手間

既存システムへの追加機能の付与

データ連携がメッシュ化が招く  
データの散在と重複

## デメリット

開発コストの増大

人力ETL

分析の前  
に疲弊

システム変更のリスク

基幹業務への影  
響は許されない！

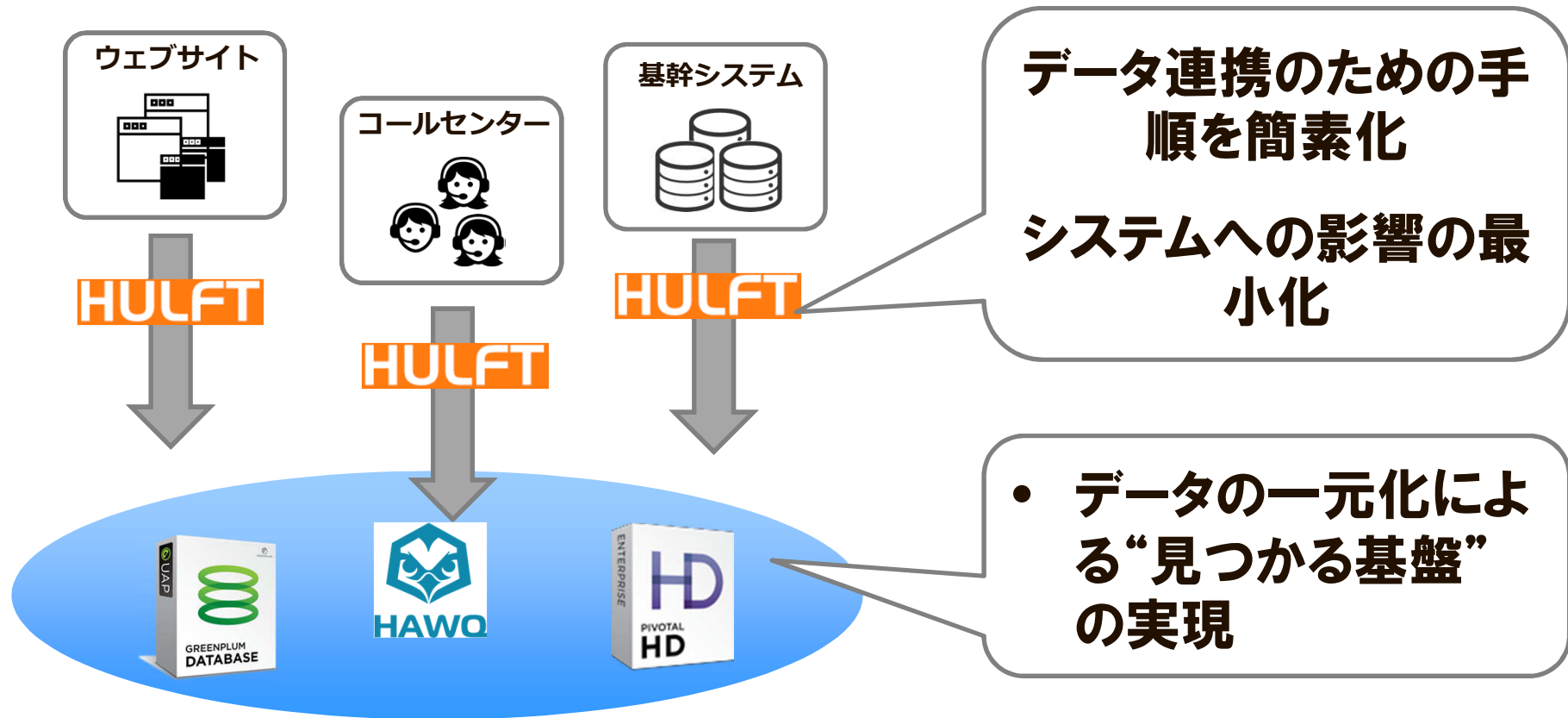
容量コストの増大

データが  
見つからない！

### [解説]

ビッグデータ分析を進める企業において、多くの場合、あらゆるデータを処理可能な基盤の整備することと並行して、必要なデータを既存システムから効率的に抽出し、分析基盤へ連携することが大きな障壁となっており、立ちちはだかります。

# HULFT+Pivotalが実現する 手軽に始めるビッグデータ分析基盤



## HULFT x Pivotal = データ活用で企業変革!

[解説]

データ連携の壁を克服するため、Pivotalジャパンではファイル転送ソリューションHULFTを中心にセゾン情報システムズ社との協業をしています。HULFTがビッグデータ分析最後の壁攻略の協力に実現すると考えています。

**GEも出資したビッグデータ時代の先駆者Pivotalと  
HULFTの連携が実現する世界**

**Pivotalジャパン株式会社**